②第13回 大商大ビジネス･アイディアコンテスト





「世に役立つ人物の養成」を建学の理念とする本学では、ビジネス社会における諸問題を発見・解決できる能力の育成を目指し、起業家精神あふれる人材を育成しようとする取組の一環として「ビジネス・アイディアコンテスト」を開催しています。

起業家精神の涵養と起業家的な資質・能力の育成を目標として、本学の学生・大学院生を対象として2003年度から毎年実施する新しい商品・サービスやビジネスモデルのアイディアを競うコンテストです。

第10回大会から自由部門に加え、企業からの課題に取組む課題部門を設定し4年目となりました。今年度も旭電機化成株式会社、株式会社カワキタに課題提供企業としてご協力いただきました。

平成27年5月21日（木）と26（火）12：15～12：50には、課題提供企業の代表者の方に来ていただき、今年度の課題の説明会を開催しました。

今年度は、869件（自由部門537件、課題部門332件）の応募があり、第1次審査で30件、第2次審査で8件のアイディアが通過し、最終審査に進みました。

また、第1次審査通過者を対象としたサポートプログラムとしてブラッシュアップ講座があり、第1回プレゼン道場を平成27年8月6日（木）11:00～13:00、第2回を平成27年8月7日(金)11:00～13:00に実施しました。1日目は、プレゼンテーションの基礎から自己紹介を使った1分間のプレゼンテーションの練習、2日目は、実際に審査会場となる場所でのプレゼンテーション体験を実施しました。平成27年8月10日（月）11:00～13:00には、アイディアブラッシュアップミーティングを開催しました。旭電機化成株式会社専務取締役　原守男氏を講師として招き、前半はアイディアのブラッシュアップの方法について講義を受け、後半は、アイディアの事例を交えたグループワークを行いました。

10月31日(土)にファイナリスト8名のプレゼンテーション審査を実施し、昨年のファイナリスト2名による事業報告、企業賞受賞者2名からの発表や課題提供企業である旭電機化成株式会社と株式会社カワキタの代表者の方から事業紹介をしていただきました。



審査結果としまして学長賞、副学長賞、東大阪商工会議所会頭賞、NPO法人東大阪地域活性化支援機構理事長賞各1名、審査員特別賞4名が決定しました。



上位4名には副賞として、世界の動向を肌で感じられる機会となる海外ビジネス研修が贈られました。海外ビジネス研修では、国を越え現地の方と心を通わせることによって、いつまでも色あせることのない思い出と人間関係を築き、その国の良さを知り、同時に日本の良さにも気づく研修を実施しました。

たとえば、

- 現地の語学学校で英会話のマンツーマン授業を受講し、英会話に興味を持つきっかけづくりと英会話力を高める機会とした。
- 現地で活躍する日系企業の視察や起業家によるビジネス講義を受講し、起業家精神にふれる機会とした。
- 現地の子供たちとふれあい、異国の人と交流し、社会福祉活動を体験。

今後も学生があらゆる場面でいろいろな経験・体験できるプログラムを構築し､そのことにより起業家精神あふれる人材を育成したいと考えています。

また、第13回大商大ビジネス・アイディアコンテストの運営は、過去に本コンテストに関わった学生が中心となり、受賞者・審査員の誘導、司会、ステージマネジメント、賞状授与のサポートなどを担当しました。

【大学生スタッフの紹介】

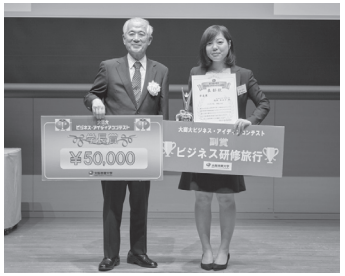


左側から
経営学科４年 石田幸多さん、商学科４年 坂本達也さん、
公共経営学科４年 中本良輝さん、経営学科３年 池田裕也さん、
経営学科２年 伊集大悟さん、経済学科４年 片岡長祥さん、
経営学科４年 佐々木咲妃さん

第13回 大商大ビジネス・アイディアコンテスト 受賞アイディア紹介

実学教育の一環として、全国高等学校ビジネスアイディア甲子園をレベルアップした形で本学の学生・大学院生を対象に平成27年10月31日（土）に「大商大ビジネス・アイディアコンテスト」ファイナルプレゼンテーション＆表彰式が開催されました。

今回応募作品869件の中から第１・２次審査を突破した８名のファイナリストと２名の企業賞のアイディアをご紹介します。



学長賞を受賞した
隠樹真由子さんと片山副学長



受賞者と審査員全員で

☆学長賞☆
◉商学科２年　隠樹 真由子さん

【するっと】

《課題部門》課題提供企業／株式会社カワキタ



私がこのアイディアを思いついたのは、保育園のボランティアをしたときです。自分で靴を履きたいけどまだ手が小さくて履けない、履けたけど左右を逆に履いているというところに着目しました。子どもの上靴についているタグに「するっと」をつけるだけで誰でも簡単に靴を履くことができます。ひっぱる部分には、今人気のキャラクター、無地の物、色で分かれている物など使う人によって使い分けできるようにしたいです。この商品の一番の目的は子どもの自立性を高めることです。この商品が商品化され多くの人に広まってくれることを期待しています。

☆副学長賞☆

◉商学科４年　水原 春佳さん

【目標達成カウンター 21】

《自由部門》



「目標達成カウンター 21」は大切な人にメッセージを録音してもらい、毎日すると決めた事をその日出来ればボタンを押し、21 日後にメッセージを聞く事ができるといった録音機付きの回数カウンターです。脳科学の分野で人は 21 日間同じ事を続けると習慣化されてその物事を続けやすくなるという事が実証されています。大切な人のメッセージを聞きたいと思う感情的な部分と脳のしくみによる科学的な部分の両方から「物事をコツコツ続ける事」をサポートし、目標達成に導くといった商品です。

☆東大阪商工会議所会頭賞☆

◉商学科３年　平峠 佑望さん

【らくらくプラグ ～横並びコンセント対応型～】

《課題部門》課題提供企業／旭電機化成株式会社



私のアイデアは、旭電機化成株式会社の「らくらくプラグ」という商品の形状を変えたものです。家電のプラグに取り付けるだけで硬いコンセントでも簡単にプラグを抜き取る事ができる便利な商品ですが、現状では縦並びコンセントにしか対応しておらず、多くの使用者がいる横並びコンセントに対応すれば、より多くの方が便利に、有効的にコンセントを使用する事ができるのではないかと言う考えから生まれたアイデアです。

☆ NPO 法人東大阪地域活性化支援機構理事長賞☆

◉経営学科１年　藤川 功基さん

【達成帳（お手伝い帳、自習帳、ダイエット帳など）】

《自由部門》



達成帳とは、目標に向かって頑張る人をサポートするノートです。目標を決め、その目標が達成できたらご褒美がもらえます。まず､達成帳には「すること」「達成度」「ご褒美」の３つの欄があります。することをして印を付けていき、達成度の欄がたまると、ご褒美がもらえる事になります。達成度が目に見えて分かるのでやる気がでます。諦めそうになってもご褒美が目に見える形で書いてあるので、そのご褒美に向かってやる気が復活します。

☆審査員特別賞☆（４名学年順）

◉商学科１年　稲岡 保准さん

【目覚まし腹巻き】

《自由部門》



このアイデアはスマートフォンと Bluetooth でワイヤレス接続されたバイブレーターを腹巻きの内側にあるポケットに収納し、身体と密着させた状態で振動させ、その振動で使用者を起こす携帯型目覚まし時計です。音を出さずに起こすことができるので通常の目覚まし時計では使えない場所でも周りを気にすることなく使用していただけます。

◉経営学科１年　長谷川 雄基さん

【Advertise カフェ】

《自由部門》



私のアイディアは消費者に対して無償で飲食物を提供するカフェを運営し、そこに集まった人々への宣伝を行う場所・機会、またそこで得た顧客情報などを企業に提供することで対価を得るというものです。また会員登録やアンケートを実施し、購買意欲が高い消費者だけを集めるイベントも行います。多種多様な消費者のニーズをフィルタリングし、企業の製品・サービスと結び付けることがこのビジネスの目的です。

◉経済学科２年　久保利 勇太さん

【「パパの休憩所」 ～退屈から家族で楽しくショッピングへ～】

《自由部門》



私のアイディアは「パパの休憩所～退屈から家族で楽しくショッピングへ～」でした。これはショッピングセンターにお父さん用の休憩所を設置して、あまり来場されないお父さんにショッピングセンターを利用してもらえるようにしようというアイディアです。しかしお父さんが利用することができるのは休日だけという問題が生まれ、平日には託児所として営業することで、平日はお母さんをターゲットにし、さらに、子持ちの従業員でも利用できるものにしようと考えました。

◉経営学科２年　清水 千歳さん

【温故知新　文化情報発信型ホームページ】

《自由部門》



昨今何かと話題になっている日本の文化。せっかく自国の文化なのに、現代人にはあまり馴染みがなく、一部の層にしか支持されていません。そこで私が考えたのは、全ての日本文化を対象とした情報サイトのサービスです。日本全国を市町村にまで細分化し、隅から隅まで情報を掲載します。それだけではなく、地方施設と連携して様々な企画を運営します。その結果、日本文化や地方の復興に繋がります。

☆企業賞☆（２名学年順）

◉経営学科１年　高畑 圭大さん

【フタがパズルになってる弁当箱】

《課題部門》課題提供企業／株式会社カワキタ



第一にフタがパズルになっている。ジグソーパズルのようなものではなく一般的に９パズル 15 パズルと呼ばれているものをパズルのフタに使う。

第二にキャラクターをフタにしてパズルにする。また、フタを別売りにして付け替えを楽しめるようにする。

第三に写真をパズルのフタに印刷して販売する。幼稚園 小学校低学年だけでなく学生、社会人にも買ってもらう。写真をパズルにすることで飽きにくくする。

◉経営学科２年　樋口 静音さん

【音量調節インターフォン】

《課題部門》課題提供企業／旭電機化成株式会社



今回 わたしが考えたアイディアは"音量調節インターフォン"という商品です。この商品は、名前の通り インターフォンの音量を大きくする装置です。もともと家についているインターフォンの音量が小さかったり、耳が悪いからインターフォンの音が聞こえずらかったり、インターフォンが聞こえなかったら生活する上でなにかと大変だと思います。

そこで、今回わたしはこのアイディアを考えました。この装置の仕組みは、補聴器と同じ仕組みを利用しようと考えました。補聴器には、入ってきた音を大きくするだけではなく、音を加工して聴きやすくする機能もあります。この機能により、スピーカーで話をしている時、外の騒音を軽減してくれます。音量調節の方法は、マイクロフォンで音を集め、アンプで電気的に音を増幅し、スピーカーで音を発生させるという仕組みです。装着方法は、車用の芳香剤のように、網目に差し込んで固定するものと両面テープの２種類考えています。２種類考えることにより、新旧どちらのタイプにも対応できるようにします。

また、後付の装置にも音量調節を付けたいと思います。こちらにも音量調節をつけることにより、もともと家についているインターフォンの音量や、個々の耳の悪さに合わせて音量を変えることができるからです。この装置での音量調節の方法は、iPhone などの音量調節と同じように、プラスマイナスボタンかレバーにするか悩んでいます。こちらは、今後、年配者を中心にアンケート調査を行い、決定したいと考えています。

また、インターフォンの音が鳴るだけではなく、光る機能も付けようか検討しています。光る機能をつけることにより、音が鳴ったとはっきり聞こえなくても、鳴った気がしたら、音がした方に振り向くと思います。その時に光っていたらインターフォンが鳴ったということがわかり、インターフォンに出ると思います。そうすることで、インターフォンに出られなかったという回数を軽減させていきたいと考えています。この商品の完成イメージとしては、あまり大きいものにはせず、邪魔にならない縦２～３cm 横３～４cm 程度を考えています。

第13回 大商大ビジネス・アイディアコンテスト

応募開始～ファイナルプレゼンテーションまでの流れ

4月 ▶ **応募受付開始！**

課題提供企業「課題説明会」

出題企業に来ていただき、課題部門の説明会を開催しました。

5/21（木）
5/26（火）

■平成 27 年 5 月 21 日（木）12:15～12:50　旭電機化成株式会社
旭電機化成株式会社　専務取締役　原 守男 氏
「お年寄りの方の暮らしが楽で安全になる商品のアイデア」



■平成 27 年 5 月 26 日（火）12:15～12:50　KAWAKITA
株式会社カワキタ　代表取締役社長　河北 一朗 氏
「入園・小学校入学アイテム×使って楽しい・持って可愛い
― キャラクター商品にも使えるアイディアグッズ ― 」



7/1(水) ▶ **18:00　応募締切　869 件の応募がありました!!**

応募締切後～7/24(金) ▶ **第１次審査（応募書類に基づく書類審査）**

7/28(火)～ ▶ **第１次審査通過者発表　30 件が通過しました!!**

ブラッシュアップ講座

8/6(木)
8/7(金)
8/10(月)

第１次審査通過者を対象に第２次審査に向けてプレゼンテーションやアイディアのブラッシュアップの方法を学ぶ講座を開催しました。

■プレゼン道場（講師：マイクロワークス株式会社　勝谷 信一郎 氏）
平成 27 年 8 月 6 日（木）・7 日（金）各日 11:00～13:00



■アイディアブラッシュアップミーティング
（講師：旭電機化成株式会社　専務取締役　原 守男 氏）
平成 27 年 8 月 10 日（月）11:00～13:00



9/11(金) ▶ **第２次審査（２分間の口頭発表審査）**
８名の最終審査進出者と２名の企業賞が決定!!

10/31(土)
大学祭2日目 ▶ **ファイナルプレゼンテーション＆表彰式**

事前の応募用紙による書類審査と当日の７分間のプレゼンテーション審査の総合評価

2月 ▶ **海外ビジネス研修　マレーシア　クアラルンプール**

（学長賞、副学長賞、東大阪商工会議所会頭賞、NPO 法人東大阪地域活性化支援機構理事長賞の受賞者４名）

第13回 大商大 ビジネス・アイディアコンテスト

【課題部門】

課題提供企業名・提供課題・HPアドレス

SMILE KIDS	課題提供企業名	旭電機化成株式会社
	HP アドレス	http://www.smile-asahi.co.jp
	課題	**「お年寄りの方の暮らしが楽で安全になる商品のアイデア」**

◆ご年配の方が暮らしていく中で、こんな商品があれば便利だとか、こんな商品があれば安全で、暮らしやすく皆がハッピーになれるという商品。





KAWAKITA	課題提供企業名	株式会社カワキタ
	HP アドレス	http://www.k-kawakita.com
	課題	**「入園・小学校入学アイテム×使って楽しい・持って可愛い ーキャラクター商品にも使えるアイディアグッズー」**

◆入園・小学校入学時や小学校生活で子供達が使用する【便利】で【可愛い】プラスチック雑貨。
◆毎日使う文具や旅行・行事で使用するハブラシセット、家や出先様々なところで使用する化粧雑貨など。





海外ビジネス研修

(2016.2.19~2.23 マレーシア　クアラルンプール)

本コンテストの副賞として、世界の動向を肌で感じられる海外ビジネス研修を実施しています。この海外ビジネス研修では、国を越え現地の方と心を通わせることによって、いつまでも色あせることのない思い出と人間関係を構築し、その国の良さを知り、同時に日本の良さにも気づく内容を目的としています。
今年度は、孤児院訪問による社会福祉体験、英会話に興味を持つきっかけづくりとして現地の語学学校でのプライベート英語レッスンの受講、また起業家によるビジネス講義の受講や現地で活躍する日系企業を視察することで起業家精神を養う機会を得たプログラムを実施しました。

1日目 2/19(金)
関西国際空港 11:00 発／クアラルンプール空港 19:40 着（シンガポール空港経由）
ホテル着 21:00 着

2日目 2/20(土)　孤児院訪問・観光
9：30　デサ・アマルジレー（孤児院）訪問
13：00　クアラルンプール郊外観光





3日目 2/21(日)　B&S（交流散策プログラム）
9：00~17：00
現地学生２名とクアラルンプール市内の観光地を散策






4日目 2/22(月)　語学レッスン
9：30~12：30
英会話マンツーマンレッスン



ビジネス講義
12：30~13：30
日本人起業家による講話
・INTER-CULTURAL LANGUAGE SCHOOL
代表　　堤　章吉 氏



企業訪問
14：30　ヤクルト工場訪問



21：45　クアラルンプール空港発
22：50　シンガポール空港着

5日目 2/23(火)
シンガポール空港　01:30 発
関西国際空港　08:45 着

これまでの海外ビジネス研修

第 1 回 (2003 年度)	第 2 回 (2004 年度)	第 3 回 (2005 年度)	第 4 階 (2006 年度)	第 5 回 (2007 年度)	第 6 回 (2008 年度)
中国	韓国	台湾	韓国	中国	フィリピン（セブ）
第 7 回 (2009 年度)	第 8 回 (2010 年度)	第 9 回 (2011 年度)	第 10 回 (2012 年度)	第 11 回 (2013 年度)	第 12 回 (2014 年度)
沖縄※	ベトナム（ハノイ）	台湾	マレーシア	ベトナム（ホーチミン）	フィリピン（セブ）
第 13 回 (2015 年度)					
マレーシア（クアラルンプール）					

※新型インフルエンザの世界的な流行により国内旅行を実施

海外ビジネス研修事前学習

海外ビジネス研修（2016.2.19～2.23 マレーシア クアラルンプール）の事前学習として、起業家によるビジネス講義やマレーシアの基礎知識を学ぶために、マレーシアの言語・風習・習慣等の講義を受講しました。

ビジネス研修説明会

第１回　平成 27 年 11 月 20 日（金）12:15～12:55
●概要・渡航手続き・内容・海外旅行傷害保険等

第２回　平成 27 年 12 月 8 日（火）16:20～17:00
●語学学校、現地情報、訪問先企業についての概要説明

第３回　平成 28 年 1 月 19 日（火）16:20～17:20
●海外ビジネス研修での行程説明と役割分担



ビジネス研修事前学習

第１回　平成 27 年 11 月 27 日（金）　16:30～17:30
「ビジネス講義」
・九州、首都圏で英語教育、ビジネス英語ビジネスを立ち上げ実践している
株式会社ジャイロスコープ　代表取締役社長　桂 次郎 氏による講義を受講





第２回　平成 28 年 1 月 14 日（木）　9:00～10:30
「マレーシアについて学ぶ」
・マレーシア政府観光局よりご紹介いただいたマレーシアレストランのオーナーの
ビベィ氏によるマレーシアの言語、風習、慣習などについての講義を受講







第12回 大商大ビジネス・アイディアコンテスト

事業報告

「世に役立つ人物の養成」を建学の理念とする大阪商業大学では、ビジネス社会における諸問題を発見・解決できる能力の育成を目指し、起業家精神あふれる人材を育成しようとする取組の一環として、「大商大ビジネス・アイディアコンテスト」を開催しています。昨年度コンテストを開催して以降の事業として、「海外ビジネス研修」「企業との連携事業」の報告をします。

海外ビジネス研修

国を越え、現地の方と心を通わせることによって、いつまでも色あせることのない思い出と人間関係を築き、その国の良さを知り、同時に日本の良さにも気づく研修とし、また、本学と旅行会社、フィリピン セブ島の英会話語学学校（IDEA LanguageSVCS.Inc）と連携を図り、英会話に興味を持つきっかけづくりと、起業家精神を養い、異国での社会福祉体験型のプログラムを実施しました。

●現地語学学校で英会話のマンツーマン授業を受講　●現地で活躍する日系企業を視察、ビジネス講義を受講
●現地ボランティア団体を訪問し、現地の子供たちとふれあい、社会福祉活動を体験


マンツーマン授業風景


グループでの授業風景


ビジネス講義風景


企業視察


ボランティア団体訪問


模擬授業風景


子供たちとの交流


帰国

企業との連携事業

株式会社カワキタと学生との連携事業「第 5 回カワキタわくわく祭」

東大阪のモノづくり企業で昨年より大商大ビジネス・アイディアコンテストでご協力いただいております株式会社カワキタ（代表取締役社長 河北一朗氏）と協同で「第 5 回カワキタわくわく祭」を開催しました。昨年より、河北社長から本学にこの取組みの協力依頼のお話をいただき、今年もまた企画運営担当の壁屋昇平氏（本学卒業生）と一緒に学生達がゲームの企画から、広報活動（プレスリリース発信）、当日の運営まで携わりました。


東大阪市長と一緒に


「ころがしてなんぼ」


河北社長も挑戦！


「カワキタじゃんけん」


OB と大商大スタッフ


「はかってなんぼ」


「はこんでなんぼ」


㈱カワキタのみなさんと

大商大ビジネス・アイディアコンテスト 受賞作品一覧

第1回（2003年度）

学長賞	●流通学科1年　木村大樹　**「イヤホンのコードがからまない商品」** 主にウォークマンに使われるイヤホンの長いコードを絡むことなく収納し、手軽に携帯、取り出せることができる。絡むことをなくすことで、コードの切断等の故障も防ぐことができる。
副学長賞	●流通学科2年　下前正樹　**「健康測定機能付き携帯電話」**
エクステンションセンター長賞	●経営学科2年　竹田英之　**「電車事故配信システム」** ●経営学科3年　竹田英司　**「駅前コミュニケーションショップ」**
審査員特別賞	●経営学科1年　永野晶子　**「大商大『新・学生レストラン』」** ●経営学科1年　山倉正稔　**「スポーツ用品のお試しサービス」** ●流通学科2年　木野将喜　**「漢字請負サービス～一心屋」** ●流通学科4年　橋本寛之　**「ファッションクリエイト」**

第2回（2004年度）

学長賞	●経営学科4年　竹田英司　**「コミュニティ・ビジネス　和履　時代屋」** 実家が祖父の代から始まる「和装履き」の生産者であることから、この地域の衰退を少しでも改善しようと考えた。和履教室を開き、顧客自ら作った「和装履き」を歩いて地元の観光地・信貴山を歩く他、陶芸教室も開き地域の特徴を活かしたコミュニティ・ビジネスを提案したい。
副学長賞	●流通学科3年　下前正樹　**「芸術品レンタルサービス『アートネット』」**
東大阪商工会議所会頭賞	●経営学科3年　赤田健　**「ちょいベル」**
NPO法人東大阪地域活性化支援機構理事長賞	●流通学科2年　松田拓朗　**「『レンタル状況』インフォメーション」**
審査員特別賞	●経営学科1年　野嶋将光　**「柄を付けるスポンジ」** ●流通学科1年　川本大智　**「カード式レシート」** ●流通学科1年　前田浩太郎　**「CD検索・視聴サービス～ミュージック・チェッカー～」** ●経済学科2年　田中敬一郎　**「Monkey Mammy（モンキー・マミー）」** ●経済学科3年　林保明　**「シートベルト着用ランプ」** ●経営学科3年　大築渉　**「訪問セールスお断り!!　通過人数指定オートロックセキュリティーシステム」**

第3回（2005年度）

学長賞	●経済学科1年　山内優美　**「病院待合呼び出しサポート!　～ワイヤレス骨伝導スピーカー～」** 病院での待合呼び出しは聞きとれなかったり、聞き逃してしまったりすることが往々にしてある。本企画は、高齢者を中心に小型のワイヤレス式骨伝導スピーカーを、「呼び出しベル」として配布するというもの。骨伝導スピーカーは耳に引っ掛けるタイプとすることで、呼び出し音の伝達を確実にする。高齢化社会における必要性が、高く評価された。
副学長賞	●流通学科3年　島田久　**「シミュレーション型インターネット販売　～シミュレーション・クリック～」**
東大阪商工会議所会頭賞	●経営学科2年　戸村純子　**「ちょっとしたプライベート企画サービス“Dayプラン”」**
NPO法人東大阪地域活性化支援機構理事長賞	●経営学科3年　桶本泰寛　**「暇つぶしナビゲーション」**
審査員特別賞	●経営学科1年　浦上康弘　**「THE訪問革靴磨き」** ●経済学科3年　川上滋　**「e-Fashion-Check」** ●経営学科3年　赤佐謙一　**「CAOCA（買おかっ）」** ●経営学科3年　吉永秀男　**「位置けんさくん」** ●流通学科3年　安崎優　**「健康器具の配送レンタルサービス～お手軽健康.com～」**

大商大ビジネス・アイディアコンテスト 受賞作品一覧

第4回（2006年度）

学長賞	●経済学科4年　川上滋　**「『楽旅』　～“パズル”方式によるオリジナル旅行プランの作成～」** インターネットのサイト上で、旅行先の観光名所などを「パズル」方式で選択設定し、オリジナル旅行プランを作成するという企画。旅行当日は、携帯電話の WEB 上で行き先案内や時刻表などをリアルタイムで確認できる。
副学長賞	●経営学科3年　戸村純子　**「頭と体の健康は食生活から!『BIOレシピ』」**
東大阪商工会議所会頭賞	●商学科2年　内藤久稔　**「新しいファッション通販～サイズ適合と仮想試着～」**
NPO法人東大阪地域活性化支援機構理事長賞	●商学科2年　永井春香　**「動画とリンクするカタログ販売～ネット融合カタログ～」**
審査員特別賞	●経済学科3年　寺脇千紗　**「ペットと一緒にエステ～飼い主もペットと癒されよう～」** ●経営学科3年　渕之上和良　**「地域密着型アフィリエイトサービス Pステーション」** ●経営学科3年　的場尚也　**「犬と一緒にきびだんご～ペットとの一体感を演出します～」**

第5回（2007年度）

学長賞	●商学科2年　阿部紫野　**「コンビニ～る傘レンタルサービス」** ファミリーマートの発行するファミマカード会員限定で「傘」レンタルするサービス。カード会員は、保証金として 100 円を払うだけで傘を貸し出し OK!傘を返却することでファミマポイント 100pt（1pt=1 円）が戻ってきます。しかも、全国いつでもどこでも貸出返却可能。このサービスを取り入れることでファミマカード会員の増加が期待できるだけでなく、地球環境問題への対応も行えます。サービスを通して、顧客との関係性を深められるというメリットも。
副学長賞	●商学科3年　数田綾乃　**「プチデザイナーSHOP」**
東大阪商工会議所会頭賞	●商学科3年　酒井久実　**「デートプランブック～シークレット ラブ ストーリー～」**
NPO法人東大阪地域活性化支援機構理事長賞	●商学科3年　内藤久稔　**「Driving lesson for women　～試乗車利用ペーパードライバー教室～」**
審査員特別賞	●経営学科1年　礒田徹　**「バーチャル・クローゼット」** ●公共経営学科2年　枝澤由利　**「携帯で『なりたい自分』になるメイク」** ●経済学科3年　椋木崇光　**「ブログ留学」** ●経営学科4年　渕之上和良　**「呼び出し音を広告に『CMコール』」**

第6回（2008年度）

学長賞	●商学科3年　阿部紫野　**「QRコードで誰でもやさしいショッピング【UNIQRO】　～UNIVERSAL×Quick Response×CLOTHING～」** 洋服ショッピングでわからないことがあったら、タグについているQRコードをピピッ！商品情報＋αをかんたん確認！携帯電話が自分専用のスタッフとなって、障がいのある人にもない人にも快適なショッピングを提供♪
副学長賞	●商学科3年　桑原弘宗　**「書けルンです！」**
東大阪商工会議所会頭賞	●経営学科1年　菊池宏弥　**「プロデビュー.com　～アマチュアからプロアーティストへの登竜門～」**
NPO法人東大阪地域活性化支援機構理事長賞	●商学科3年　出海朱絵　**「ENJOY!!通販Life!!～通販オリジナル商品試着サービス～」**
審査員特別賞	●経営学科2年　土居脩司　**「広告記載で無料配布ノート」** ●商学科2年　花輪有一　**「楽しめ～る切符」** ●経済学科3年　伊藤光平　**「サンタでGO!!」**

大商大ビジネス・アイディアコンテスト 受賞作品一覧

第7回（2009年度）	学長賞	●経済学科２年　間中貴史	「不合格グッズシリーズ ～本気の人以外はゼッタイに使用しないで下さい！～」 常々思っていた、受験シーズンに流行る多数の「合格グッズ」。いずれも神頼みなど他力本願的なもので、本当に効果のある物かどうか疑わしい。そこで「合格グッズ」に異を唱える形で生み出したのが「不合格グッズ」だった。本当に合格するための物で、中途半端な気持ちで買うのは難しいだろう。
	副学長賞	●経済学科１年　平田拓嗣	「～きちんと捨てて学校を美しく～『ポイントBOX』」
	東大阪商工会議所会頭賞	●商学科４年　出海朱絵	「CSR（小さなキャップで！スマイル増やしてリサイクル!!） ～エコキャップアーティストが地球を笑顔にする～」
	NPO法人東大阪地域活性化支援機構理事長賞	●商学科２年　清家槙	「プリントらくらく　めくれーる」
	審査員特別賞	●経済学科３年　串田達哉 ●経営学科３年　岡本良介 ●経営学科３年　山本竜太	「～アンテナショップで地方活性化～『田舎屋』」 「2段階飲料水」 「二度寝防止クン」

第8回（2010年度）	学長賞	●商学科２年　松村真生	「この傘かったって～」 傘の内側にある開閉時にスライドさせる部分（＝下ろくろ）に付けた２つの突起を、人差し指と中指で引っ掛け、柄の部分を身体に当てて引っ張ります。その結果、片手で閉じられるようになります。また、製作については「平らな面と突起のある型に変えるだけ」＋「機械にたよらない手動」のためのコストが大幅に抑えられます。
	副学長賞	●商学科４年　村上公規	「Twitter×Waiter」
	東大阪商工会議所会頭賞	●経営学科２年　中西明	「なんでもやるゾー!!小さな仕事OK!」
	NPO法人東大阪地域活性化支援機構理事長賞	●経営学科３年　杉山祐脩	「スタンバー!?～何所でも楽々、装着式傘立て～」
	審査員特別賞	●経営学科１年　白瀬幹雄 ●商学科１年　中郷裕崇 ●経営学科３年　阿部竜作	「ケータイで簡単！野球場でグルメ注文システム」 「『もう捨てさせません!!』コンビニ弁当 ～ピピッ!とメールで売れ残りゼロへ～」 「Akiyado～空き家を利用した会員制別荘サービスの提案～」

第9回（2011年度）	学長賞	●経営学科２年　岸畑雅美	「パフォーマンスバー」 このアイディアは、披露する場がないアマチュアパフォーマーをターゲットにしたビジネスです。客はバーの食事代金500円につき１枚オリジナルコインがもらえ、そのコインをパフォーマーにチップとして好きなだけ渡します。パフォーマーはもらったコイン１枚につき50円が食事代から割り引かれます。パフォーマーには技術相応のチップが支払われ、向上心の向上になります。
	副学長賞	●経営学科３年　遠藤元大	「旅行なう」
	東大阪商工会議所会頭賞	●経済学科３年　和田悠	「eye棒」
	NPO法人東大阪地域活性化支援機構理事長賞	●商学科２年　岡本梨沙	「100kcalお惣菜屋さん」
	審査員特別賞	●経営学科２年　中村建太 ●経営学科２年　吹上文音 ●経済学科４年　桂木聡 ●経営学科４年　杉山祐脩	「タイムロック～誘惑にロックを時間で開く錠～」 「訳あり食材を創作料理に～どんな訳も素敵に変身～」 「～人・企業・地球、みんながよろこぶ～ 『フリーレンタルサイクル』」 「府りかけ“隠れ名産見い～つけた”」

大商大ビジネス・アイディアコンテスト 受賞作品一覧

第10回（2012年度）	学長賞	●経営学科２年　田中伸我	「着火線香」 着火線香とは、現在ある線香をより強固するため、圧縮加工・調合段階で固くする薬品を使うことで固くした線香に、マッチの火薬の含まれた赤い部分を線香の片側先端に付け火がつけやすく、危険も少ない、さらに使用しやすくした新しい線香です。
	副学長賞	●経営学科３年　岸畑雅美	「ポップコーンブーケ～大切な人の大切な記念日に～」
	東大阪商工会議所会頭賞	●商学科２年　林亜祐美	「いいとこいっぱい　いしきりん　かるた」
	NPO法人東大阪地域活性化支援機構理事長賞	●経営学科４年　大西七瀬	「イヤホール　ジャんクしょん」
	審査員特別賞	●経営学科２年　長崎悠 ●商学科３年　水原春佳 ●商学科４年　寺西和也	「ドアノブカラーアート」 「絶景!!夕焼けガイドブック」 「Remains遊園地潜入ツアー」
	企業賞	●商学科２年　金田諒平 ●経済学科２年　八木有人 ●公共経営学科２年　松井歩美 ●公共経営学科２年　山﨑大	「なくしても　見つかる　双子ストラップ」 「ふんわりと匂いのする携帯カバー」 「Thank you mama!キット」 「ワイヤークラフト組立キット～楽しくリハビリ～」

第11回（2013年度）	学長賞	●商学科３年　岡本梨沙	「脂肪もコストも燃焼!!フィットネスクラブ」 これは利用者の運動量に比例して割引額が増えるシステムを導入したフィットネスクラブです。利用者の努力次第で月会費額を減らすことができるため、フィットネスクラブの主な退会理由である「お金がかかる」「モチベーションが続かない」等の不便・不満点を解消することができます。そして発電型フィットネスマシンや太陽光発電の利用によって、電気代の削減だけでなく売電収益を得られ、経営可能とさせることができます。
	副学長賞	●経済学科４年　桂玲央奈	「ハンズフリー買い物カゴ」
	東大阪商工会議所会頭賞	●経済学科４年　田代翔太	「オシャレ蛍光ワッペン」
	NPO法人東大阪地域活性化支援機構理事長賞	●経済学科２年　片岡長祥	「広告パーキング」
	審査員特別賞	●商学科１年　山口綾乃 ●経営学科２年　蔵下真美 ●経営学科３年　中西健朗 ●経済学科４年　野田将	「トライくんとプリクラ撮ろう！」 「ロケット綿棒」 「ふれあい・ペット広場」 「～World Chips～」
	企業賞	●公共経営学科２年　中本良輝 ●経営学科３年　石田幸多	「ザグザグシアター」 「ラクラクプラグ～テラシー君～」

大商大ビジネス・アイディアコンテスト 受賞作品一覧

第12回（2014年度）

学長賞	●経済学科４年	田代翔太	「ラグビーボール型寄せ書き用ジグソーパズル」 ラグビーボール型の立体的な3Dジグソーパズルです。ただ作って完成のパズルではなく、文字を書くことができ、寄せ書きをしてプレゼントすることができます。 使用方法は、まず、プレゼントする人はパズルを完成させて、みんなで寄せ書きを書きます。そして、またばらばらにして箱に戻し、プレゼントします。プレゼントしてもらう人は、そのジグソーパズルを組み立てながら、寄せ書きがどんどん見られるようになっていき、完成させると、すべての寄せ書きが見られるということです。 ただ単に色紙に書いて渡すのでは面白みがないが、この商品の利点は、プレゼントする人もしてもらう人も楽しめ、良い思い出作りができる点です。
副学長賞	●経営学科１年	伊集大悟	「大型車専用カーナビ」
東大阪商工会議所会頭賞	●商学科３年	三井紀子	「マジカル☆キャリップ～口紅がおちない～」
NPO法人東大阪地域活性化支援機構理事長賞	●商学科３年	坂本達也	「家事っ子～皿洗い編～」
審査員特別賞	●商学科１年	渡邉葵	「らくらくコーディネートアプリ ～天気に合わせた自分だけの着回し術～」
	●商学科３年	吉田沙織	「左手よごれーぬ」
	●公共経営学科３年	大谷知也	「ランナー用チャリティー自販機」
	●経営学科４年	田中伸我	「ラクラク洗濯バサミ止まる君」
企業賞	●経済学科１年	林輝	「スクラム咲くらむ～花園の花を咲かせよう～」
	●経営学科４年	田中伸我	「子育てハンガー～恥ずかしがりやな動物たちに服を！～」

第13回（2015年度）

学長賞	●商学科２年	隠樹真由子	「するっと」 私がこのアイディアを思いついたのは、保育園のボランティアをしたときです。自分で靴を履きたいけどまだ手が小さくて履けない、履けたけど左右を逆に履いているというところに着目しました。子どもの上靴についているタグに「するっと」をつけるだけで誰でも簡単に靴を履くことができます。ひっぱる部分には、今人気のキャラクター、無地の物、色で分かれている物など使う人によって使い分けできるようにしたいです。この商品の一番の目的は子どもの自立性を高めることです。この商品が商品化され多くの人に広まってくれることを期待しています。
副学長賞	●商学科４年	水原春佳	「目標達成カウンター21」
東大阪商工会議所会頭賞	●商学科３年	平峠佑望	「らくらくプラグ ～横並びコンセント対応型～」
NPO法人東大阪地域活性化支援機構理事長賞	●経営学科１年	藤川功基	「達成帳(お手伝い帳、自習帳、ダイエット帳など)」
審査員特別賞	●経営学科１年	長谷川雄基	「Advertise カフェ 」
	●商学科１年	稲岡保准	「目覚まし腹巻き 」
	●経済学科２年	久保利勇太	「『パパの休憩所』 ～退屈から家族で楽しくショッピングへ～」
	●経営学科２年	清水千歳	「温故知新　文化情報発信型ホームページ 」
企業賞	●経営学科１年	高畑圭大	「フタがパズルになってる弁当箱」
	●経営学科２年	樋口静音	「音量調節インターフォン」